

フッ素樹脂薄膜処理コート

フッ素樹脂薄膜コートの特徴

フッ素樹脂薄膜コートは、フッ素樹脂を主材として、プラスチックの物理的強度を変化（劣化）させず表面にだけフッ素樹脂を薄膜コートさせる特殊な処理技術です。

フッ素樹脂特性の耐薬剤性、耐摩耗性、潤滑性、耐候性、耐熱性、耐光性、撥水性等を持たせることが可能です。ナイロン、ポリエステル、ABS等のプラスチックに採用され特殊な分野でその進化を発揮しています。

✚ 薄膜コート、染色が出来る樹脂

ナイロン、ポリエステル、ABS、PP樹脂、スチロール、ウレタン、フロロカーボンの**他殆どの樹脂**及び天然ゴム、合成ゴム等にも**薄膜コート**が出来て改質が可能になりました。

✚ 用途

樹脂ギア-ゴムベルト、事務機用ゴムロール、ワイバーゴム、各種樹脂、合成ゴムの摩擦防止に最適です。

✚ 材質

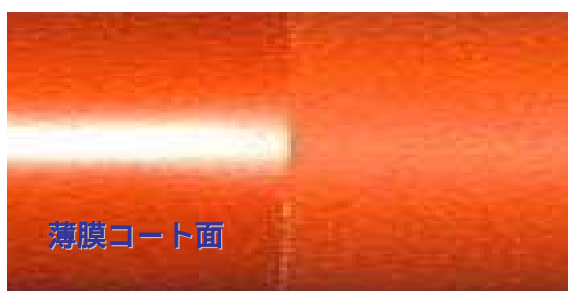
フッ化エチレンを主材とし 0.2~0.4 ミクロンの単粒子を樹脂及びゴムのポーラスの面に薄膜コートし、フッ化エチレンを接着するのが原理です。

樹脂、ゴムの表面に約 100 ミクロンの深さまで薄膜コートします。

✚ 作業工程

真空ポンプで減圧しますと、試験片より脱泡現象発生後、真空ポンプを停止し、減圧解除（常圧に戻す）し、再度真空ポンプにて減圧し脱泡現象が終了するまで減圧工程を続行します。減圧工程終了後、急激に常圧に戻し薄膜コート処理が完了します。

フッ素樹脂薄膜コートは、フッ素樹脂微粒子の薄膜が行われるコート技術です。



薄膜コート面

